

ようね。

村田 午後の協議会は困りました。紙に書かれた問の全部に解答するのですが、返事に困るようなものばかりなんです。例えば、くせの悪い子どもはどうしたらよいのでしょうか？ という具合でしたから。

司会 また頼まれたらやるに値すると思われませんか？

及川 私どもの幼稚園に参観に来られた人は、ここではないともやられているからこういう保育が出来るのだと思いがちです。しかしそうではありませんから、この先生

## 保育実際指導における感想

荒 木 弥 生

今夏の、全道私立幼稚園研修大会は、北海道にとって画期的なことでした。しかも私共の園児によって保育の実際指導が三

日間にわたってなされるというので、大きな期待と抱負を持って全道より三百余名の先生方が集って参りました。ただこのような形態

たちの迷惑を考えなければ価値あるものだと思うのです。園長会でも、研究会は實際保育の場がないと実がないと言われておりますよ。ただあの時、客、つまり参会の先生がたのためによい部屋がとってあったので、子どもたちは父兄と一しよに納戸のようなところに一時間半もおしこまれる結果になってしまいました。これは今後気をつけなければならぬと考えさせられました。司会 それでは興味深いお話をありがとうございます。ふだん接していない子どもに、突然實際保育をしてみせるということ

は、なざる先生方にとってはたいへん困難なものにもかかわらず、お話をうかがうと立派に所期の目的を達せられたようです。それには現地の方々のこまかい配慮と御協力があったためとお察しします。このような實際保育の展示は、うっかり不用意にやるとうまくいかなかったりするでしょうが、担当された先生方も、現地の準備をなされた方々もそのような困難をよく克服されたと感じました。

\* \* \*

の研修会は初めてでもあり、主催者側の不馴れなため、不行届きの点が多々あったと思われますが、とにかく、参加者一同が多大の収穫を得、また種々反省と保育に対する奮起の機会となったことは誠に幸いであつたと思います。二日や三日で保育の実態を掴み、あるいは評価するということは、とてもむずかしいことだと思いますが、自由保育のあり方、誘導保育の流れを目のあたり見せていただき二、三感じたことを述べさせていただきます。

実は正直なところ、お茶の水の先生方は斯道に有名なベテラン揃いだとの評があるの  
で、少々恐れをなしておりましたが、お会い  
してみますと、とても親しみ深い、しかも謙  
虚な態度の先生方で私共と同じく幼児達を育  
てるため如何に苦勞なされているかがわか  
り、誠に嬉しく心強さを感じました。

つぎに保育計画は地域社会あるいは環境に  
よって随分違いがあるのが本質なのでこれ  
どのようにリードなさっていらっしやるか、  
東京と北海道では氣候その他においても相  
当な差異があるのでどのような保育をなさ  
るか、期待と一種の興味を持っておりまし  
たが、見事にこれらを克服せられて私共に日  
々の保育の形態をどのような望ましい流れで  
いとなんでいくのがよいかを示唆されました。  
生まれて初めて私共の幼児達が三百余のお  
となに、しかも先生方に取り囲まれて、ど  
のような動きをするか、不安と心配との交錯  
した気持ちで見守らせていただきましたが、私  
共の幼児達をよく観察され、その発達の上に  
立つて個々に効果あるよう保育を進められまし

た。即ち幼児達が自然的に遊べる機会を多く  
持たせそれをつづぎに観察して正しく誘導保  
育されて行かれたので、幼児達が実に自然に  
スムーズに刺激と指導を受け入れられたのは  
先生方の常日頃の幼児教育に対する御熱意と  
御研究によるものと信じ敬服いたしました。

しかしあのような保育形態においては幼児  
数が多かったり、設備が十分でないならば、  
幼児達は自然、教師の目や注意から落ちこぼ  
れているのではないかと、たとえば四時間五時  
間もの保育時間中を「ぶらんこばかりこい  
いた」「砂場ばかりで遊んでいた」「遊具のう  
ばい合いから腕力を奪ってばかりいた」「子ど  
も、友達や先生の話にも耳を傾けない子ども  
らの導き方はどうしたら良いのであるか、こ  
れらに思いを馳せるとき、種々と考えさせら  
れ反省させられます。

自由保育か、一斉保育か、種々論議されま  
すが、それぞれ各幼稚園において事情もあり  
ますし、要は幼児本意にたゆまざる研究を続  
けていかなければならないと思います。

園長設置者部会において今回の保育実際指

導は所謂模範指導ともいえるのであるから如  
何なる研究授業にても指導案が事前に明示さ  
れているが、それが無い、余程の指導経験指  
導力量のある教師であつてもいい加減な思  
つきのな事に流れ易いなどの意見が多かつた  
ようですが、私はそれはむしろいいことであ  
ると思います。

なぜならば、保育計画は自分が受持つ幼児  
の地域社会とか環境にそくし、しかも幼児の  
経験活動及び心身の発達目標に沿ったもので  
なくてはならないので、初めて会う幼児、名  
前も性格もわからない幼児に指導計画の明示  
は困難なことですから實際保育に当られた先  
生方の御苦心がわかつて頭の下る思いがいた  
しました。

望ましい保育の在り方について困難と悩み  
を感じていた教師達も、今回の研修会を一  
大転機として、その持ち場、持ち場において  
幼児教育の革新を目指し常に研究し努力する  
ことが重要な事ではなからうかと存じます。

(北海道札幌第二幼稚園主任教師)